HX データ プラットフォーム（HXDP）ソフトウェア推奨リリース バージョン：Cisco HyperFlex HX シリーズ システム

初版：2019 年 8 月 28 日

最終更新：2021 年 6 月 30 日

概要

本章では、Cisco HyperFlex HX シリーズ システムでどの HX データプラットフォーム ソフトウェア リリースが推奨されるかを説明します。本ドキュメントの内容は、新規 および既存の設定・構築の両方を取り扱っています。

（注） 推奨されるリリースバージョンのパッチリリースは、ドキュメントでの情報提供前にダウンロード可能な場合があります。最新のパッチをダウンロードする前に、HX データプラットフォーム リリースノートおよび Cisco HyperFlex HX Data Platform セキュリティアドバイザリの「問題」セクションで、最新のリリースでの差分修正から利益を得られる展開シナリオと機能を確認してください。

このガイドで使用される一般的な用語と定義は次のとおりです。

表 *1*：一般的な用語と定義

用語	定義
Cisco HX	製品名「Cisco HyperFlex」の短縮形であり、このドキュメント全体で使用されています。
Required	準拠するには、使用する、または従う必要があります。
認定	ほとんどの展開で最適なパフォーマンスを提供する認定オプション。
推奨	ほとんどの展開で最適なパフォーマンスを提供する、テスト済みで認定済みのオプション。

新規環境および既存環境での実装に対する推奨ソフトウェア

シスコは、新規および既存の展開に推奨および推奨されるソフトウェアを提供します。ほとんどの展開で最適なパフォーマンスを提供する認定オプションであるソフトウェアリリースの組み合わせもあります。適格なオプションの完全なリストの詳細については、Cisco HXDP ソフトウェア要件のセクションを参照してください。

HXDP とハイパーバイザのバージョンの選択 - ESXi

アップグレードを検討している新規および既存のクラスタを持つ ESXi のお客様

アップグレードを検討している新規および既存のクラスタを持つ ESXi のお客様は、次の表で推奨されるソフトウェアバージョンを参照してください。提供されているリンクを使用して、リリースノートおよび関連するソフトウェアのダウンロードページにアクセスできます。

表 *2: ESXi* で推奨されるソフトウェアバージョン

プラットフォーム	推奨される HX リリース	推奨される VMware ESXi バージョン
アップグレードを考慮中のすべての新しいクラスタと既存のクラスタ。	5.0(2a)	6.5U3 - ソフトウェア ダウンロードページで指定されている、ESXi 6.5 U3 P07 ビルド 18678235 以降のビルド用の Cisco HX カスタムイメージ。 6.7U3 - ソフトウェア ダウンロードページで指定されている、6.7 U3 ビルド 19195723 以降のビルド用の Cisco HX カスタムイメージ。 7.0U2 - ソフトウェア ダウンロードページで指定されている、7.0 U2e ビルド 19290878 以降のビルド用の Cisco HX カスタムイメージ。[1] 7.0U2 - ソフトウェア ダウンロードページで指定されている、ESXi 7.0 U3 ビルド 19482537 以降のビルド用の Cisco HX カスタムイメージ。

[1] ESXi 7.0 U2 は、古い Intel CPU を実行している HyperFlex クラスタではサポートされていません。詳細については、CSCvy84658 を参照してください。

（注） M5 ノードを備えた HyperFlex クラスタの場合、サーバーファームウェア バージョンが推奨またはサポートされていることを確認してください。UCS サーバーファームウェア バージョン 4.1(3b) または 4.1(3c) で M5 ノードを実行している場合は、バージョン 4.1(3d) 以降にアップグレードしてください。詳細については、CSCvx93920 を参照してください。この欠陥は、クラスタ内の M4 ノードには影響しません。

（注） エアギャップのお客様（つまり、HXDP SLR または PLR を使用している）の場合、アップグレードまたは新しいクラスタの作成では、HX 5.0（2b）を使用して永続的なルート シェル機能を利用することを検討する必要があります。

（注） HXDP 4.5（2e）は、CCO の [ソフトウェア ダウンロード ページ（Software Download Page）] でもスター付きリリースです。HXDP 4.5（2e）を実行しているクラスタは、HXDP 5.0（2a）に緊急にアップグレードする必要は**ありません**。

（注） ストレッチクラスタ、All-NVMe、HX アクセラレーション エンジン、HX Edge 2 ノードクラスタは、M4 ハードウェアではサポートされていません。

（注） CCO のソフトウェア ダウンロード ページの星印は、Cisco HyperFlex ESX 標準 HX デプロイメント（SED/非 SED/ストレッチ クラスタ）で推奨されるリリースを示しています。

（注） SED SSD 設定を使用する Cisco HyperFlex クラスタには、最新推奨リリースへのアップグレードが必要です。問題と問題の影響を受けやすい設定を特定するための手順の詳細については、Field Notice FN70234 を参照してください。

（注） HyperFlex OVA ベースのインストーラは、HX Edge M6 をサポートしていません。ライフサイクル管理に Intersight を使用します。HX 非エッジクラスタは、OVA または Intersight インストーラを使用して展開できます。

HXDP とハイパーバイザのバージョンの選択 - Hyper-V

アップグレードを検討している新規および既存のクラスタを持つ Hyper-V のお客様

アップグレードを検討している新規および既存のクラスタを持つHyper-Vのお客様は、次の表で推奨されるソフトウェアバージョンを参照してください。提供されているリンクを使用して、リリースノートおよび関連するソフトウェアのダウンロードページにアクセスできます。

表 *3: Hyper-V* で推奨されるソフトウェアバージョン

プラットフォーム	推奨される HX リリース	推奨される Hyper-V バージョン
アップグレードを考慮中のすべての新しいクラスタと既存のクラスタ。	5.0(2a)	Windows Server 2016 Datacenter Core および Desktop Experience （注） Windows Server 2016 Datacenter Core & Desktop Experience では、Windows 2016 ISO イメージは少なくとも Update Build Revision（UBR）1884 である必要があります。 Windows Server 2019 Datacenter デスクトップ エクスペリエンス （注） Windows Server 2019 Desktop Experience では、Windows 2019 ISO イメージは少なくとも Update Build Revision（UBR）107 である必要があります。

（注） HXDP 4.5（2e）は、CCO の [ソフトウェア ダウンロード ページ（Software Download Page）] でもスター付きリリースです。HXDP 4.5（2e）を実行しているクラスタは、HXDP 5.0（2a）に緊急にアップグレードする必要はありません。

（注） Hyper-V でサポートされていない機能は次のとおりです。

- M6 サーバー
- HX Edge
- オール NVMe
- HX アクセラレーション エンジン
- ストレッチ クラスタ
- 自己暗号化ドライブ
- iSCSI サポート
- UEFI セキュアブート モード
- HX-CSI サポート
- vCenter の再登録
- HyperCheck
- HxConnect のスケジュールされたスナップショット
- VIC 1457

（注） Hyper-V は M5 ハードウェアでのみサポートされます。

HW、SW の互換性、および最新の HX リリースとの互換性を必要とする同じ FI でのマルチクラスタ展開の詳細については、以下を参照してください。

- Microsoft Hyper-V のソフトウェア要件 - 4.5(x) リリース
- Cisco HX Data Platform の互換性と拡張性の詳細 - 4.5(x) リリース

Cisco HyperFlex リリース 5.0（2x）にアップグレードする理由

Cisco HyperFlex リリース 5.0（2x）にアップグレードする主な理由としては、次のものが挙げられます：

- Cisco HyperFlex HX245C/225C M6 オール フラッシュ/ハイブリッド サーバー データセンター ノードのサポート
- 15TB NVMe サポート
- HX シェルの「診断」ユーザー
- ストレッチ クラスタのソフトウェア暗号化サポート

- DR レプリケーション ネットワークの MTU 編集のサポート
- ESXi 7.0 U3 のサポート
- HX CSI リリース 1.2（3a）
- Intel® Optane™ DC パーシステント メモリ（DCPMM）のサポート。

Cisco HyperFlex リリース 4.5(x) にアップグレードする理由

Cisco HyperFlex リリース 4.5(x) にアップグレードする主な理由としては、次のものが挙げられます。

- HyperFlex Edge 240 フル デプス サーバー
- ハードウェア RAID M.2 ブートドライブ
- ネイティブ iSCSI プロトコルのサポート（ブロックストレージ）
- Intersight を使用した HyperFlex Edge クラスタのバックアップと復元
- HX Connect でのスケジュールされたスナップショット
- セキュア管理者シェル
- UEFI セキュアブート モード

Cisco HyperFlex リリース 4.0(2x) にアップグレードする理由

Cisco HyperFlex リリース 4.0(2x) にアップグレードする主な理由としては、次のものが挙げられます。

- ブースト モードのサポートにより、Cisco HyperFlex クラスタでより高い IOPS を提供することが可能になります。
- オール NVMe の HyperFlex のサポート
- VMWare vCenter の Cisco HyperFlex HTML プラグイン
- ディザスタリカバリで保護された仮想マシンのスケールの増加
- ディザスタリカバリの設定
- 自己署名証明書のダイナミック生成の強化
- クラスタ アップグレード適格性テスト
- Cisco Intersight Invisible Cloud Witness を使用した Ultra-Light HyperFlex Edge クラスタ（2 ノード）のサポート
- クラウドで提供される HyperFlex Edge のアップグレード
- VMware Site Recovery Manager（SRM）の統合

- 集中型監査ログのエクスポート
- DTA STIG コンプライアンス
- C480 ML コンピューティング専用ノード

リリースのリリース サポート タイムライン: 5.0（x）

表 *4 : 5.0（2x）*のリリース サポート タイムライン

マイルストーン	定義	日付
リリース日	ソフトウェア バージョンが最初にダウンロード可能になった日付。	2022 年 8 月 23 日
ソフトウェア メンテナンス終了（EOSM）のリリース日	シスコのエンジニアリング部門による、ソフトウェア メンテナンス リリースまたはバグ修正の最終日。この日付以降は、シスコのエンジニアリング部門による該当バージョンのソフトウェアの開発、修正、メンテナンス、テストが行われません。	2024 年 2 月 23 日
ダウンロード終了（EOD）日	Cisco のダウンロード ページから該当ソフトウェアをダウンロードできる最後の日付。この日付を過ぎると、ダウンロードサイトから該当ソフトウェアをダウンロードできなくなります。	2024 年 11 月 23 日
セキュリティと脆弱性サポート（EoVS）（PSIRT 修正）の提供終了	シスコがセキュリティ脆弱性サポートを提供する最終日。	2024 年 11 月 23 日
サポートの最終日	当該バージョンに対して問い合わせサポートおよび情報サービスを受けられる最終日。この日付を過ぎると、このソフトウェアのすべてのサポートを利用することができなくなり、ソフトウェアは廃止となります。	2025 年 2 月 28 日

表 *5 : 5.0(1x)* のリリース サポート タイムライン

マイルストーン	定義	日付
リリース日	ソフトウェアバージョンが最初にダウンロード可能になった日付。	2021 年 11 月 10 日
ソフトウェア メンテナンス終了（EOSM）のリリース日	シスコのエンジニアリング部門による、ソフトウェアメンテナンスリリースまたはバグ修正の最終日。この日付以降は、シスコのエンジニアリング部門による該当バージョンのソフトウェアの開発、修正、メンテナンス、テストが行われません。	2022 年 7 月 31 日
ダウンロード終了（EOD）日	Cisco のダウンロード ページから該当ソフトウェアをダウンロードできる最後の日付。この日付を過ぎると、ダウンロードサイトから該当ソフトウェアをダウンロードできなくなります。	2022 年 11 月 30 日
セキュリティ脆弱性修正パッチの提供終了	シスコがセキュリティ脆弱性サポートを提供する最終日。	2022 年 7 月 31 日
サポートの最終日	当該バージョンに対して問い合わせサポートおよび情報サービスを受けられる最終日。この日付を過ぎると、このソフトウェアのすべてのサポートを利用することができなくなり、ソフトウェアは廃止となります。	2023 年 2 月 28 日

リリース4.5(2x) までのリリース サポート タイムライン

表 *6 : 4.5(2x)* のリリース サポート タイムライン

マイルストーン	定義	日付
リリース日	ソフトウェアバージョンが最初にダウンロード可能になった日付。	2021 年 6 月 30 日

マイルストーン	定義	日付
ソフトウェア メンテナンス終了（EOSM）のリリース日	シスコのエンジニアリング部門による、ソフトウェアメンテナンスリリースまたはバグ修正の最終日。この日付以降は、シスコのエンジニアリング部門による該当バージョンのソフトウェアの開発、修正、メンテナンス、テストが行われません。	2022 年 12 月 17 日
ダウンロード終了（EOD）日	Cisco のダウンロード ページから該当ソフトウェアをダウンロードできる最後の日付。この日付を過ぎると、ダウンロードサイトから該当ソフトウェアをダウンロードできなくなります。	2023 年 9 月 17 日
セキュリティと脆弱性サポート（EoVS）（PSIRT 修正）の提供終了	シスコがセキュリティ脆弱性サポートを提供する最終日。	2023 年 9 月 17 日
サポートの最終日	当該バージョンに対して問い合わせサポートおよび情報サービスを受けられる最終日。この日付を過ぎると、このソフトウェアのすべてのサポートを利用することができなくなり、ソフトウェアは廃止となります。	2023 年 12 月 31 日

リリース4.5(1x) までのリリース サポート タイムライン

表 *7 : HX 4.5(1x)* のリリース サポート タイムライン

マイルストーン	定義	日付
リリース日	ソフトウェア バージョンが最初にダウンロード可能になった日付。	2021 年 1 月 6 日

マイルストーン	定義	日付
ソフトウェア メンテナンス終了（EOSM）のリリース日	シスコのエンジニアリング部門による、ソフトウェア メンテナンスリリースまたはバグ修正の最終日。この日付以降は、シスコのエンジニアリング部門による該当バージョンのソフトウェアの開発、修正、メンテナンス、テストが行われません。	2021 年 10 月 6 日
ダウンロード終了（EOD）日	Cisco のダウンロード ページから該当ソフトウェアをダウンロードできる最後の日付。この日付を過ぎると、ダウンロードサイトから該当ソフトウェアをダウンロードできなくなります。	2021 年 10 月 6 日
セキュリティと脆弱性サポート（EoVS）（PSIRT 修正）の提供終了	シスコがセキュリティ脆弱性サポートを提供する最終日。	2021 年 10 月 6 日
サポートの最終日	当該バージョンに対して問い合わせサポートおよび情報サービスを受けられる最終日。この日付を過ぎると、このソフトウェアのすべてのサポートを利用することができなくなり、ソフトウェアは廃止となります。	2022 年 01 月 31 日

リリースのリリース サポート タイムライン: 4.0(2x)

表 *8 : HX 4.0(2x)* のリリース サポート タイムライン

マイルストーン	定義	日付
リリース日	ソフトウェアバージョンが最初にダウンロード可能になった日付。	2020 年 2 月 11 日

マイルストーン	定義	日付
ソフトウェア メンテナンス終了（EOSM）のリリース日	シスコのエンジニアリング部門による、ソフトウェアメンテナンスリリースまたはバグ修正の最終日。この日付以降は、シスコのエンジニアリング部門による該当バージョンのソフトウェアの開発、修正、メンテナンス、テストが行われません。	2022 年 01 月 11 日
ダウンロード終了（EOD）日	Cisco のダウンロード ページから該当ソフトウェアをダウンロードできる最後の日付。この日付を過ぎると、ダウンロードサイトから該当ソフトウェアをダウンロードできなくなります。	2022 年 08 月 11 日
セキュリティと脆弱性サポート（EoVS）（PSIRT 修正）の提供終了	シスコがセキュリティ脆弱性サポートを提供する最終日。	2022 年 08 月 11 日
サポートの最終日	当該バージョンに対して問い合わせサポートおよび情報サービスを受けられる最終日。この日付を過ぎると、このソフトウェアのすべてのサポートを利用することができなくなり、ソフトウェアは廃止となります。	2023 年 2 月 28 日

提供中のリリース バージョンの種類

リリースの種類	リリース
現在のロングライフ リリース	4.5(2x)、5.0(2x)
機能リリース（ショートライフ リリース）	5.0(1x)

（注） 機能リリースを使用する場合は、機能リリースで提供されている最新のパッチリ リースを常に使用することをお勧めします。

Cisco HyperFlex リリース ポリシーおよびサポート タイムラインの詳細については、次の情報を参照してください。 https://www.cisco.com/c/en/us/td/docs/hyperconverged_systems/HyperFlex_HX_DataPlatformSoftware/release-guidelines-and-support-timeline/b-release-bulletin-hyperflex.html

依存関係、セキュリティ修正、解決済みの警告の詳細なリストについては、特定のリリースのリリースノートを参照してください。

https://www.cisco.com/c/en/us/support/hyperconverged-systems/hyperflex-hx-data-platform-software/products-release-notes-list.html を参照してください

HX データ プラットフォームの販売終了およびサポート終了のお知らせについては、

https://www.cisco.com/c/en/us/products/hyperconverged-infrastructure/hyperflex-hx-series/bulletin-listing.html を参照してください。

サポートされていない Cisco HyperFlex リリース

リリース	初期リリース日	サポート終了日
HXDP 4.5(1x)	2021 年 1 月 6 日	2022 年 1 月 31 日
HXDP 4.0(2x)	2020 年 2 月 11 日	2023 年 2 月 28 日
HXDP 4.0(1x)	2019 年 4 月 29 日	2020 年 9 月 29 日
HXDP 3.5(2x)	2019 年 1 月 8 日	2021 年 10 月 31 日
HXDP 3.5（1x）	2018 年 10 月 16 日	2020 年 5 月 15 日
HXDP 3.0（1x）	2018 年 4 月 13 日	2020 年 5 月 15 日
HXDP 2.6(1a)、2.6(1b)、2.6(1e)[2]	2017 年 9 月 1 日 2017 年 11 月 15 日 2019 年 8 月 6 日	2019 年 6 月 15 日
HXDP 2.0、2.1、2.5	2017 年 3 月 13 日、2017 年 4 月 28 日、2017 年 7 月 22 日	2019 年
HXDP 1.7、1.8	2016 年 11 月 26 日	2019 年

[2] HX 2.6(1e) は、HX 1.8（1a-1e）アップグレードの経由箇所としてのみサポートされます。一般的な用途ではありません。

推奨リリースへのサポートされているアップグレード パス

HX データプラットフォーム ソフトウェアを新しいリリースにアップグレードする場合は、展開の要件に基づいてリリースを選択します。また、最新の HyperFlex ソフトウェアリリース配信モデルを確認して、長期リリースまたは機能リリースのどちらにアップグレードするのが最適かを判断してください。詳細については、『Cisco HyperFlex ソフトウェア リリース モデルおよびソフトウェア サポート タイムライン』を参照してください。

新規および既存の導入に関する一般的な推奨事項については、Cisco HyperFlex ESXi および Hyper-V の推奨バージョンを説明したセクションを参照してください。

サポートを終了した HX データプラットフォーム ソフトウェア リリースから、Cisco ソフトウェア ダウンロードサイトの最新の提案されたリリースにアップグレードする場合、『サポートされていない Cisco HX リリースの Cisco HyperFlex システム アップグレード ガイド』を参照してください。

推奨リリースより以前のソフトウェア バージョンを使用する環境

可能な限り、前述の Cisco HyperFlex リリースのいずれかにアップグレードすることをお勧めします。アップグレードが不可能な場合は、以前のリリースの HX データ プラットフォーム リリース ノートを確認してください。未解決の問題の影響の判断にはバグ検索ツールを使用することで情報が得られる場合があります。

マニュアルとソフトウェア

詳細については、Cisco HyperFlex 製品資料のページをご覧ください。

ソフトウェアについては、「ソフトウェアのダウンロード」ページを参照してください。

マニュアルの入手方法およびテクニカル サポート

資料の入手方法、Cisco バグ検索ツール（BST）の使用方法、サービスリクエストの送信方法、および追加情報の収集方法については、『更新情報』（http://www.cisco.com/c/ja_jp/td/docs/general/whatsnew/whatsnew.html）を参照してください。

『*What's New in Cisco Product Documentation*』では、シスコの新規および改訂版の技術マニュアルの一覧を、RSS フィードとして購読できます。また、リーダー アプリケーションを使用して、コンテンツをデスクトップに直接配信することもできます。RSS フィードは無料のサービスです。

通信、サービス、偏向のない言語、およびその他の情報

- シスコからタイムリーな関連情報を受け取るには、Cisco Profile Manager でサインアップしてください。
- 重要な技術によりビジネスに必要な影響を与えるには、Cisco Services にアクセスしてください。
- サービス リクエストを送信するには、Cisco Support にアクセスしてください。
- 安全で検証済みのエンタープライズクラスのアプリケーション、製品、ソリューション、およびサービスを探して参照するには、Cisco Marketplace にアクセスしてください。
- 一般的なネットワーキング、トレーニング、認定関連の出版物を入手するには、Cisco Press にアクセスしてください。
- 特定の製品または製品ファミリの保証情報を探すには、Cisco Warranty Finder にアクセスしてください。

マニュアルに関するフィードバック

シスコのテクニカルドキュメントに関するフィードバックを提供するには、それぞれのオンラインドキュメントの右側のペインにあるフィードバックフォームを使用してください。

Cisco バグ検索ツール

Cisco Bug Search Tool（BST）は、シスコ製品とソフトウェアの障害と脆弱性の包括的なリストを管理する Cisco バグ追跡システムへのゲートウェイとして機能する、Web ベースのツールです。BST は、製品とソフトウェアに関する詳細な障害情報を提供します。

偏向のない言語

この製品のマニュアルセットは、偏向のない言語を使用するように配慮されています。このドキュメントセットでの偏向のない言語とは、年齢、障害、性別、人種的アイデンティティ、民族的アイデンティティ、性的指向、社会経済的地位、およびインターセクショナリティに基づく差別を意味しない言語として定義されています。製品ソフトウェアのユーザーインターフェイスにハードコードされている言語、基準ドキュメントに基づいて使用されている言語、または参照されているサードパーティ製品で使用されている言語によりドキュメントに例外が存在する場合があります。

翻訳について
このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。